

社会情報学科専門科目（平成26年度入学生用）

	科目 コード	科目名	単位	時数	学年	開講	担当教員	摘要	開放
基礎科目		行動科学概論	②	30	1	前期	亀ヶ谷雅彦		教養
		情報社会論	②	30	1	後期	嶋崎 伸一		教養
		インターネット演習	②	30	1	前期	伊豆田義人		教養
		統計学入門	②	30	1	前期	鈴木 久美		教養
人間社会と心理		社会学	2	30	1	前期	嶋崎 伸一	日本史と合同	教養
	40120	社会ネットワーク論	2	30	2	後期	嶋崎 伸一		教養
	40130	情報産業論	2	30	2	前期	嶋崎 伸一		教養
	40140	社会調査演習	2	30	2	後期	嶋崎 伸一		
	40150	環境社会学	2	30	1・2	前期	中川 恵		教養
	40160	社会と図書館	2	30	1・2	前期	孫 誌街		
		社会心理学	2	30	1	前期	亀ヶ谷雅彦		
		集合行動論	2	30	1	後期	亀ヶ谷雅彦		
	40190	社会心理学演習	2	30	2	前期	亀ヶ谷雅彦		
	40200	政治心理学	2	30	1・2	後期	亀ヶ谷雅彦		[日]は専門単位[国・英]は教養単位
40210	認知心理学	2	30	2	後期	清水 浩			
経済と経営分析	40310	経済学入門	2	30	1・2	前期	鈴木 久美	[日]は専門単位[国・英]は教養単位	教養
		ファイナンス論	2	30	1	後期	鈴木 久美	本年度開講せず	教養
	40330	ファイナンス演習	2	30	2	前期	鈴木 久美		
	40340	簿記会計演習	4	60	1・2	前期	平野 智久	連続2時限の受講をもって1回の授業となる	
	40350	電子商取引概論	2	30	1・2	後期	董 彦文		
	40360	情報セキュリティ論	2	30	1・2	後期	董 彦文		
		経営学入門	2	30	1	前期	松下 幸生		教養
	40380	経営情報論	2	30	2	後期	松下 幸生		
		意思決定論	2	30	1	後期	松下 幸生		
40400	経営情報演習	2	30	2	前期	松下 幸生			
メディア表現と情報		情報メディア論	2	30	1	前期	小池 隆太	「IT概論」で読み替え 連続2時限の受講をもって1回の授業となる	教養
		メディア表現法	2	30	1	後期	小池 隆太		教養
	40530	コミュニケーションデザイン論	2	30	1・2	後期	小池 隆太		教養
	40540	メディア制作演習	2	30	2	前期	小池 隆太		
	40550	メディアリテラシー	2	30	1・2	後期	亀ヶ谷雅彦		教養
	40560	グラフィックス演習	2	30	1・2	前期	伊豆田義人		教養
	40570	グラフィックスデザイン演習	2	30	1・2	後期	伊豆田義人		教養
	40580	ウェブデザイン演習	2	30	1・2	後期	伊豆田義人		教養
		データベース概論	2	30	1	後期	西川 友子		
	40610	プログラミング演習	4	60	2	前期	西川 友子		
基礎ゼミ		基礎ゼミ一	2	30	1	後期	嶋崎 伸一		教養
		基礎ゼミ二	2	30	1	後期	亀ヶ谷雅彦		
		基礎ゼミ三	2	30	1	後期	松下 幸生		
		基礎ゼミ四	2	30	1	後期	鈴木 久美		
		基礎ゼミ五	2	30	1	後期	小池 隆太		
		基礎ゼミ六	2	30	1	後期	伊豆田義人		
		基礎ゼミ七	2	30	1	後期	小嶋 隆一		
専門ゼミ	40820	専門ゼミ一	4	60	2	通年	嶋崎 伸一	本年度開講せず	
		専門ゼミ二	4	60	2	通年	亀ヶ谷雅彦		
	40830	専門ゼミ三	4	60	2	通年	松下 幸生	本年度開講せず	
		専門ゼミ四	4	60	2	通年	鈴木 久美		
	40850	専門ゼミ五	4	60	2	通年	小池 隆太		
	40860	専門ゼミ六	4	60	2	通年	伊豆田義人		
	40870	専門ゼミ七	4	60	2	通年	西川 友子		
	40880	専門ゼミ八	4	60	2	通年	孫 誌街		
	40890	専門ゼミ九	4	60	2	通年	清水 浩		
	40900	専門ゼミ十	4	60	2	通年	比留間浩介		
40910	卒業研究	②		2					

(注) ○数字は必修単位、)○数字は選択必修単位

社会情報学科専門科目（平成27年度入学生用）

	科目 コード	科目名	単位	時数	学年	開講	担当教員	摘要	開放
基礎科目	40010	行動科学概論	②	30	1	前期	亀ヶ谷雅彦		教養
	40020	情報社会論	②	30	1	後期	嶋崎 伸一		教養
	40030	インターネット演習	②	30	1	前期	伊豆田義人		教養
	40040	統計学入門	②	30	1	前期	鈴木 久美		教養
人間社会と心理	40110	社会学	2	30	1	前期	嶋崎 伸一	日本史と合同	教養
		社会ネットワーク論	2	30	2	後期	嶋崎 伸一		教養
		情報産業論	2	30	2	前期	嶋崎 伸一	教養	
		社会調査演習	2	30	2	後期	嶋崎 伸一		
	40150	環境社会学	2	30	1・2	前期	中川 恵		教養
	40160	社会と図書館	2	30	1・2	前期	孫 誌街		
	40170	社会心理学	2	30	1	前期	亀ヶ谷雅彦		教養
	40180	集合行動論	2	30	1	後期	亀ヶ谷雅彦		教養
		社会心理学演習	2	30	2	前期	亀ヶ谷雅彦		教養
	40200	政治心理学	2	30	1・2	後期	亀ヶ谷雅彦	[日]は専門単位[国・英]は教養単位	教養
	認知心理学	2	30	2	後期	清水 浩			
経済と経営分析	40310	経済学入門	2	30	1・2	前期	鈴木 久美	[日]は専門単位[国・英]は教養単位	教養
	40320	ファイナンス論	2	30	1	後期	鈴木 久美	本年度開講せず	教養
		ファイナンス演習	2	30	2	前期	鈴木 久美		
	40340	簿記会計演習	4	60	1・2	前期	平野 智久	連続2時限の受講をもって1回の授業となる	
	40350	電子商取引概論	2	30	1・2	後期	董 彦文		
	40360	情報セキュリティ論	2	30	1・2	後期	董 彦文		
	40370	経営学入門	2	30	1	前期	松下 幸生		教養
		経営情報論	2	30	2	後期	松下 幸生		
	40390	意思決定論	2	30	1	後期	松下 幸生		
	経営情報演習	2	30	2	前期	松下 幸生			
メディア表現と情報	40510	情報メディア論	2	30	1	前期	小池 隆太		教養
	40520	メディア表現法	2	30	1	後期	小池 隆太		教養
	40530	コミュニケーションデザイン論	2	30	1・2	後期	小池 隆太		教養
		メディア制作演習	2	30	2	前期	小池 隆太		
	40550	メディアリテラシー	2	30	1・2	後期	亀ヶ谷雅彦		教養
	40560	グラフィックス演習	2	30	1・2	前期	伊豆田義人		教養
	40570	グラフィックスデザイン演習	2	30	1・2	後期	伊豆田義人		教養
	40580	ウェブデザイン演習	2	30	1・2	後期	伊豆田義人		教養
	40590	データベース概論	2	30	1	後期	西川 友子		
	40620	I T概論	2	30	1	後期	西川 友子		
	プログラミング演習	4	60	2	前期	西川 友子	連続2時限の受講をもって1回の授業となる		
基礎ゼミ		基礎ゼミ一	2	30	1	後期	嶋崎 伸一	本年度開講せず	
	40720	基礎ゼミ二	2	30	1	後期	亀ヶ谷雅彦		
	40730	基礎ゼミ三	2	30	1	後期	松下 幸生		
		基礎ゼミ四	2	30	1	後期	鈴木 久美	本年度開講せず	
	40750	基礎ゼミ五	2	30	1	後期	小池 隆太		
	40760	基礎ゼミ六	2	30	1	後期	伊豆田義人		教養
	40770	基礎ゼミ七	2	30	1	後期	西川 友子		
専門ゼミ		専門ゼミ一	4	60	2	通年	嶋崎 伸一		
		専門ゼミ二	4	60	2	通年	亀ヶ谷雅彦		
		専門ゼミ三	4	60	2	通年	松下 幸生		
		専門ゼミ四	4	60	2	通年	鈴木 久美		
		専門ゼミ五	4	60	2	通年	小池 隆太		
		専門ゼミ六	4	60	2	通年	伊豆田義人		
		専門ゼミ七	4	60	2	通年	西川 友子		
		専門ゼミ八	4	60	2	通年	孫 誌街		
		専門ゼミ九	4	60	2	通年	清水 浩		
		専門ゼミ十	4	60	2	通年	比留間浩介		
		卒業研究	②		2				

(注) ○数字は必修単位、}○数字は選択必修単位

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40030		インターネット演習	2	伊豆田義人	前期	教養

【達成目標】

目的は、(ア) ホームページの記述言語 html の基本を学習すること、(イ) Html によるホームページの作法を習得すること、(ウ) 実践的にウェブデザインの基本を理解すること、(エ) タイピング能力を上達させることです。

【授業内容・方法】

授業でのタイピング訓練は最初の2回ほどのみで、それ以降は次回提出宿題の形でタイピングの達成を目指します。HTMLおよびCSSの学習においては、授業での解説ならびに実習課題のほか、理論・概念への理解を深めるための演習宿題が毎回あり、期末には自律的な問題解決能力の向上のための夏休み中に作成の制作プロジェクトがあります。

【授業計画】

- | | | |
|--------------------|---------------------|----------------------|
| ① ガイダンス。授業システムの解説 | ② ブラインドタッチの基本 | ③ タイピングの訓練 |
| ④ ウェブページの仕組み | ⑤ html 5 の基礎 | ⑥ html5 の基本的なタグ |
| ⑦ CSS3 の基本的な事項 | ⑧ html5 と css3 との関係 | ⑨ html5 と css3 による制作 |
| ⑩ ウェブページの基本的な構造の作成 | ⑪ レイアウト作成の基本 | ⑫ 様々なレイアウトの作成 |
| ⑬ 様々なレイアウトの作成—その2 | ⑭ サイトのひな形の作成 | ⑮ 期末課題の説明 |

【テキスト】

適宜プリントを配布します。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

学習要領と課題の多い短時間の必須科目なので、履修科目の検討の際には、宿題の時間も考慮してください。

【評価方法】

期末課題（40%）、定期課題（40%）、授業への参加度（20%）

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40040		統計学入門	2	鈴木 久美	後期	教養

【達成目標】

1. 日常的に触れるデータの特性を理解し、データから情報を読み取り判断できるようにする。
2. 簡単な統計分析ができるようにする。

【授業内容・方法】

授業計画に挙げるトピックを講義し、取り扱ったトピックに関して、Excel を利用して学生が自分で分析に利用できるようにする。座学と実習の併用講義である。

【授業計画】

- | | | | |
|-----------|------------|----------------|------------------|
| ① はじめに | ② ヒストグラム | ③ 分布の中心をあらわす尺度 | ④ 分布の散らばりをあらわす尺度 |
| ⑤ 正規分布(1) | ⑥ 正規分布(2) | ⑦ 信頼区間(1) | ⑧ 信頼区間(2) |
| ⑨ 信頼区間(3) | ⑩ 検定(1) | ⑪ 検定(2) | ⑫ 検定(3) |
| ⑬ 検定(4) | ⑭ 散布図と相関係数 | ⑮ データの利用 | |

【テキスト】

第一回の講義で指定する。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

初回の授業には必ず出席してください。
限られた時間で多くのことを学ぶので復習が必須です。

【評価方法】

期末試験（100%）

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40130		情報産業論	2	嶋崎 伸一	前期	教養

【達成目標】

1. 企業における情報化の現状と課題を理解すること。
2. 新しいビジネスモデルの特徴とそれが企業にもたらした変化等を理解すること。

【授業内容・方法】

本講義では、「情報」という視点から個々の企業あるいは産業全体がこれまでどのような形態での進化を遂げて来たのか、また今後どのような方向に進もうとしているのかを具体的な事例を紹介しながら考察します。

【授業計画】

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| ①イントロダクション | ⑦企業の社会的責任(CSR) |
| ②企業とは何か、最近の企業動向 | ⑧ネットビジネス市場 |
| ③IT革命の概況 一日米比較 | ⑨Web 2.0 |
| ④新しいビジネスモデルの展開 | ⑩梅棹忠夫氏の「情報産業論」 |
| ⑤企業組織の変化 | ⑪企業における情報管理 |
| ⑥新しい就業形態 —SOHO— | ⑫わが国の情報産業の今後 (まとめ) など |

【テキスト】

毎回、講義概要(レジュメ)を配布します。

【受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)】

ドッグイヤー、マウスイヤーと言われながら目まぐるしい変貌を遂げている産業社会。その姿を的確に把握することは非常に難しいことですが、日頃から大いなる好奇心を持って各種メディアの情報に注目してゆきましょう。

【評価方法】

期末レポート課題 (70%)、授業への参加度 (30%)

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40140		社会調査演習	2	嶋崎 伸一	後期	

【達成目標】

1. 調査票の作成、調査の実施、集計、結果の解釈といった一連の作業を行えるようになること。
2. 社会調査(質問紙調査)の有効性と問題点を理解すること。

【授業内容・方法】

調査テーマは履修者が選定し、グループごとに作業を進めていきます。その過程の中で、調査方法、調査票作成のポイント、集計・分析方法などについて解説します。

【授業計画】

- | | |
|-----------------------|---------------|
| ①社会調査の概論解説 —その目的・方法等— | ⑦調査票の作成 |
| ②調査の枠組みの検討 —テーマの選定— | ⑧調査の実施 |
| ③ // —調査方法の検討— | ⑨データ入力と集計 |
| ④母集団の特定とサンプリング | ⑩ // |
| ⑤調査票の作成 | ⑪ // |
| ⑥ // | ⑫結果の解釈とまとめ など |

【テキスト】

参考資料を適宜配布します。

【受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)】

社会調査を自らが企画し実施する機会は、そう度々訪れるものではありません。皆さんが日頃から疑問に思っていることや深く探求してみたいと思っている事象について、若者ならではの感性をぶつけて調査してみましょう。

【評価方法】

取組み姿勢および調査の成果等 (70%)、授業への参加度 (30%)

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40150		環境社会学	2	中川 恵	前期	教養

【達成目標】

1. 環境社会学における基礎的な知見を理解する。
2. 環境社会学の視座から環境問題・環境共存について議論を行う。

【授業内容・方法】

環境をめぐる問題は、私たちの暮らしのあり方から地球規模の政治課題まで、幅広い領域で議論されている。この講義では食と農の問題を中心に今日的争点をめぐる様々な立場を紹介する。身近な課題を通じて学ぶ中で、なぜ今、環境が社会を学ぶ上でキーワードとなっているのか。私たちはどのような立場から、何をすることができるのかを問い直す。

【授業計画】

開発と公害（鉱毒事件、水俣病）、環境共存を考える（歴史の保存、環境保全の文化論）、経済発展と環境問題（戦後の国土開発、受益圏と受苦圏）、農業・食料問題を考える（有機農業運動、食品公害、グローバル化と国内農業）、農山村と都市をむすぶ（農山村振興政策、食をつうじた交流）

【テキスト】

鳥越皓之・帯谷博明編、2009、『よくわかる環境社会学』ミネルヴァ書房

梶瀧俊子・谷口吉光・立川雅司編、2014、『食と農の社会学』ミネルヴァ書房

このほか参考文献は適宜紹介する。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

環境に関わる課題と立場について考察を深める機会としたい。

テキストにとどまらない積極的な議論、建設的な意見交換を期待する。

【評価方法】

授業への参加度(20%)と課題(80%)によって評価する。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40160		社会と図書館	2	孫 誌銜	前期	

【達成目標】

本講義は情報化社会における図書館の役割と機能について学び、文献検索、情報検索など情報メディア活用の基本的な知識と技能を習得することを目標とする。

【授業内容・方法】

【授業計画】

1. 図書館とは
 - ・社会における図書館の役割
 - ・図書館活用法
2. インターネット時代の情報活用
 - ・情報検索の基礎
 - ・情報メディアの種類と特性
 - ・検索技術
 - ・インターネット情報源
3. レポートの作成法
4. 図書館見学
5. テーマ選び・プレゼンテーション

【テキスト】

毎回プリント配布。 【参考書】 その都度紹介します。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

前半は図書館情報学の基礎を学び、後半は情報メディアの基礎、利用法など図書館で活用するデジタル情報源の検索について学びます。学習にあたって、図書館の利用法やレポートの作成法、プレゼンテーションの仕方など、情報スキルの形成を重視します。授業では最寄りの公共図書館、学校図書館の調査・見学などを行い、課題としてレポート発表があるので、受講生には授業への積極的な参加が望まれる。

【評価方法】

授業への参加度・平常点、レポート・発表で総合的に評価します。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40170		社会心理学	2	亀ヶ谷雅彦	前期	教養
<p>【達成目標】 社会心理学の知見を用いて、社会や人間についての理解を深めることができる。</p> <p>【授業内容・方法】 社会心理学で扱う内容のうち、社会的認知、対人関係、集団内行動といった、主に個人の内部や対人間で生じる現象に関するトピックを取り上げて講義する。「心理学的」社会心理学の側面が強い内容となっている。</p> <p>【授業計画】 ①はじめに ②印象形成 ③帰属 ④推論と問題解決 ⑤自己 ⑥～⑦性格と社会的性格 ⑧態度 ⑨～⑩説得 ⑪ノンバーバル・コミュニケーション ⑫～⑬同調 ⑭～⑮役割</p> <p>【テキスト】 レジュメをPDF形式で配布する。ダウンロード方法は授業開始時に教示する。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 毎回、実験やアンケートを行って参加型の授業を目指します。後期の「集合行動論」も履修すると、社会心理学の全体像が見渡せると思います。</p> <p>【評価方法】 課題レポート（70%）、授業への参加度（30%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40180		集合行動論	2	亀ヶ谷雅彦	後期	教養
<p>【達成目標】 社会心理学の知見を用いて、社会や人間についての理解を深めることができる。</p> <p>【授業内容・方法】 社会心理学で扱う内容のうち、集団間行動、集合行動、文化といった、主に集団間や組織されない集団、社会で生じる現象に関するトピックを取り上げて講義する。「社会学的」社会心理学の側面が強い内容となっている。</p> <p>【授業計画】 ①はじめに ②利他主義 ③リーダーシップと集団思考 ④～⑤映画「12人の優しい日本人」 ⑥犯罪心理学とプロファイリング ⑦集団間差別と偏見 ⑧交換理論 ⑨～⑩ゲーム理論と社会的ジレンマ ⑪群集とパニック ⑫流言とデマ ⑬世論とマスコミ ⑭文化 ⑮異文化間コミュニケーション</p> <p>【テキスト】 レジュメをPDF形式で配布する。ダウンロード方法は授業開始時に教示する。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 毎回、実験やアンケートを行って参加型の授業を目指します。前期の「社会心理学」も履修すると、社会心理学の全体像が見渡せると思います。</p> <p>【評価方法】 課題レポート（70%）、授業への参加度（30%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40190		社会心理学演習	2	亀ヶ谷雅彦	前期	教養
<p>【達成目標】 カウンセリング体験を通して、自他理解を深めることができる。</p> <p>【授業内容・方法】 SGE（構成的グループエンカウンター）のエクササイズや教育ゲームなどを演習形式で行う。</p> <p>【授業計画】 ①～③SGE とは ④～⑮SGE エクササイズ体験 （履修者は毎回エクササイズに参加するとともに、グループに分かれて、順番にリーダー役を担当する。リーダー役のグループは、担当する回に行うエクササイズ・教育ゲームを2つ程度選んで実施し、事後に「エクササイズ実施シート」を提出する）</p> <p>【テキスト】 必要に応じて教示する。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 エクササイズへの参加を促すために毎回出席を取りますので、できるだけ休まないようにして下さい。就職活動や教育実習などで休む場合は事前に連絡して下さい。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度（70%）、エクササイズ実施シート（30%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40200		政治心理学	2	亀ヶ谷雅彦	後期	教養
<p>【達成目標】 政治学や政治心理学の知見を用いて、政治現象についての理解を深めることができる。</p> <p>【授業内容・方法】 政治過程や政治現象の心理的側面に関するトピックを取り上げて講義する。ただし、政治学の初学者向けに、前半で政治学や政治過程論に関する内容を講義し、政治心理学に関する内容は後半で取り上げる。</p> <p>【授業計画】 ①はじめに ②民主主義の政治体制 ③～④自由民主主義以外の政治体制 ⑤イデオロギー ⑥～⑦政党と政党支持 ⑧～⑨世界の選挙 ⑩選挙の理論 ⑪政策決定ゲーム ⑫政治的パーソナリティ ⑬～⑭政治的社会化 ⑮テロリズム</p> <p>【テキスト】 レジメをPDF形式で配布する。ダウンロード方法は授業開始時に教示する。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 履修する学生は、日々のニュースや新聞に気を配るようにして下さい。また、「社会心理学」「集合行動論」「国際関係論」といった科目も履修すると、理解が深まると思います。</p> <p>【評価方法】 課題レポート（70%）、授業への参加度（30%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放										
40210		認知心理学	2	清水 浩	後期											
<p>【達成目標】 認知心理学とは、知覚、記憶、学習、問題解決、思考などの認知機能がどのような仕組みで働いているかを明らかにしようとする心理学の一分野である。</p> <p>【授業内容・方法】 本講では、人間を情報処理システムとみなして、そのしくみを探ろうとする情報処理アプローチの体験的な理解を中心としながら、認知機能を高める手法についても考察する。最新の脳科学の成果についても触れる。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>①認知心理学とはどのような学問か</td> <td>②人間の認知を情報処理的にとらえる</td> </tr> <tr> <td>③感覚情報貯蔵庫</td> <td>④～⑤短期記憶</td> </tr> <tr> <td>⑥～⑦作業記憶</td> <td>⑧注意と change blindness</td> </tr> <tr> <td>⑨～⑪長期記憶</td> <td>⑫記憶を支える脳の仕組み</td> </tr> <tr> <td>⑬～⑭大脳の左右半球の機能差</td> <td>⑮ストロープ効果</td> </tr> </table> <p>【テキスト】 適宜資料を配布する。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 ほぼ毎回パソコンを使った体験コーナーがあるので、積極的に参加してください。また、事前に心理学を受講しておくことが望ましいです。結果の整理にエクセルを用いますので、計算やグラフ作成ができるようにしておいてください。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度（40%）、課題及びレポート（60%）</p>							①認知心理学とはどのような学問か	②人間の認知を情報処理的にとらえる	③感覚情報貯蔵庫	④～⑤短期記憶	⑥～⑦作業記憶	⑧注意と change blindness	⑨～⑪長期記憶	⑫記憶を支える脳の仕組み	⑬～⑭大脳の左右半球の機能差	⑮ストロープ効果
①認知心理学とはどのような学問か	②人間の認知を情報処理的にとらえる															
③感覚情報貯蔵庫	④～⑤短期記憶															
⑥～⑦作業記憶	⑧注意と change blindness															
⑨～⑪長期記憶	⑫記憶を支える脳の仕組み															
⑬～⑭大脳の左右半球の機能差	⑮ストロープ効果															

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放																				
40310		経済学入門	2	鈴木 久美	前期	教養																				
<p>【達成目標】 日常生活とミクロ経済学，マクロ経済学の概念の融合を目的とします。 新聞やテレビの経済ニュースを経済理論で説明できるようになることを目的とします。</p> <p>【授業内容・方法】 講義は，講義形式を主体とする．テーマごとに講義を受けた後，確認のために授業内課題を行います。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>①ガイダンス</td> <td>②経済学概論</td> <td>③需要</td> <td>④需要曲線</td> <td>⑤供給</td> </tr> <tr> <td>⑥供給曲線</td> <td>⑦市場均衡</td> <td>⑧均衡の変化・確認課題(1)</td> <td>⑨GDP(1)定義など</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑩GDP(2)名目と実質</td> <td>⑪国民所得の決定(1)民間消費</td> <td>⑫国民所得の決定(2)投資・政府支出</td> <td>⑬国民所得の決定(3)均衡国民所得</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑭財政乗数・租税乗数</td> <td>⑮確認課題(2)・まとめ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>【テキスト】 必要に応じて授業内で指定します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 経済学は，積み上げていくタイプの科目なので毎回の講義をきちんと理解しないと次回の講義が理解できなくなる可能性があります。そのため，復習を厭わない方にお勧めします。数学を利用します。</p> <p>【評価方法】 期末テスト（80%）、確認課題（20%）</p>							①ガイダンス	②経済学概論	③需要	④需要曲線	⑤供給	⑥供給曲線	⑦市場均衡	⑧均衡の変化・確認課題(1)	⑨GDP(1)定義など		⑩GDP(2)名目と実質	⑪国民所得の決定(1)民間消費	⑫国民所得の決定(2)投資・政府支出	⑬国民所得の決定(3)均衡国民所得		⑭財政乗数・租税乗数	⑮確認課題(2)・まとめ			
①ガイダンス	②経済学概論	③需要	④需要曲線	⑤供給																						
⑥供給曲線	⑦市場均衡	⑧均衡の変化・確認課題(1)	⑨GDP(1)定義など																							
⑩GDP(2)名目と実質	⑪国民所得の決定(1)民間消費	⑫国民所得の決定(2)投資・政府支出	⑬国民所得の決定(3)均衡国民所得																							
⑭財政乗数・租税乗数	⑮確認課題(2)・まとめ																									

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40330		ファイナンス演習	2	鈴木 久美	前期	
<p>【達成目標】 ファイナンス論で学習したトピックを実際の生活に応用できるようにすることを目的とします。</p> <p>【授業内容・方法】 ファイナンス論で学んだポートフォリオ理論の応用を講義し、それを利用したコンピュータ演習（投資）を行います。</p> <p>【授業計画】 ①ガイダンス ②金融市場（資本市場） ③株式と債券 ④チャート ⑤四季報(1) ⑥四季報(2) ⑦四季報(3) ⑧四季報(4) ⑨四季報(5) ⑩四季報(6) ⑪日経平均等 ⑫投資結果報告 ⑬投資結果分析(1) ⑭投資結果分析(2) ⑮まとめ</p> <p>【テキスト】 必要に応じて授業内で紹介します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 ファイナンス論でのポートフォリオの収益率とリスクの関係について理解できていることを前提に講義を行います。数学の予備知識があると講義の理解が容易になります。</p> <p>【評価方法】 最終的な投資結果（100%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40340		簿記会計演習	4	平野 智久	前期	
<p>【達成目標】 現代社会における企業の役割はきわめて重要です。企業の経済活動を二面的に捉え、確固とした規則にもとづき、組織的に記録する体系を「複式簿記」といいます。本講義では、日常的な記録から損益計算書や貸借対照表の作成に至る「複式簿記」の一連の過程を学習します。そして、実際に作成した財務諸表をどのように読み取るか、といった学習をとおして、社会人としての基盤を身につけます。</p> <p>【授業内容・方法】 下記テキストと配布資料により講義します。適宜、「確認テスト」を実施する予定です。</p> <p>【授業計画】 (1) 簿記の意義と会計の目的 (2) 仕訳と転記 (3) 商品売買 (4) 現金・預金および手形 (5-6) 債権と債務 (7) 有価証券, 固定資産 (8) 税金, 引出金 (9-10) 訂正仕訳, 試算表 (11) 主要簿と補助簿 (12-14) 決算, 精算表 (15) 財務諸表の分析</p> <p>【テキスト】 初回講義までに以下の2冊をご用意ください。 大原簿記学校『スラスラできる 日商簿記3級 テキスト』大原出版, 950円+税, 2013年12月。 大原簿記学校『スラスラできる 日商簿記3級 問題集』大原出版, 950円+税, 2013年12月。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 この科目は初学者を対象としています(全商簿記2級以上の取得者には他の科目の履修を勧めます)。4-5限のため1日の進度は速く、自宅での復習は長い時間を要します。「一夜漬け」の学習では単位を修得できません。積極的に取り組んでいる学生には時間外での質問にも応じます(予約制)。</p> <p>【評価方法】 学期末の試験結果にもとづいて評価します。「確認テスト」の結果は、適宜、これに加算します。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40350		電子商取引概論	2	董彦文	後期	

【達成目標】

1. 電子商取引（EC）、電子マネーの電子商店の構築と運営の基本知識と関連法律を理解する。
2. ECの効果的な活用方法・トラブル防止策を学んで、ECの基本教養を身につけてもらう。

【授業内容・方法】

消費者と事業者の視点から電子商取引（EC）の基本知識、基本技術および効果的な活用方法などを取り上げて講義する。インターネット上の関連情報を活用し、様々な問題を答えることも重視する。

【授業計画】

- | | | | |
|-------------------|-----------|-------------------------|------------|
| ①電子商取引の概要 | ②電子決済 | ③電子マネー | ④電子商取引と法律 |
| ⑤消費者契約法 | ⑥物品販売業とEC | ⑦情報提供・仲介事業とEC | |
| ⑧コンテンツ販売事業、金融業とEC | | ⑨電子商取引の始め方とネットオークションの利用 | |
| ⑩ホスティングサービスの利用 | | ⑪電子モールの出店方法 | ⑫電子商店運営の基本 |
| ⑬電子商店のマーケティング | | ⑭まとめ | ⑮総合演習 |

【テキスト】

必要に応じてプリントを配布する。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

受講生の皆さんのものの感じ方、考え方を踏まえて、なるべく難しい専門用語を避けて、より実用的・よりわかり易い授業になるよう工夫していきたい。

【評価方法】

毎回授業に提出された課題の答え（60点）とレポートの内容（40点）によって評価する。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40360		情報セキュリティ論	2	董彦文	後期	

【達成目標】

1. 一般利用者としての必要最低限なセキュリティ知識を身につけてもらう。
2. ネットワークにおける各種の危険性と脅威を理解のうえ、基本的なセキュリティ対策を習得する。

【授業内容・方法】

情報の盗聴、侵入、破壊とウィルス感染などの様々な脅威から身を守るための基本知識、基本対策について講義する。インターネット上の情報を活用し、様々な問題を解決する能力の養成も重視する。

【授業計画】

- | | | |
|------------------------|-----------------|----------------|
| ①インターネットとその危険性 | ②セキュリティの基本 | ③盗聴の脅威と対策 |
| ④侵入と改ざんの脅威と対策 | ⑤破壊となりすましの脅威と対策 | ⑥ウィルスの基本知識 |
| ⑦ウィルス感染防止・駆除対策 | ⑧セキュリティ関連法律のしくみ | ⑨知的財産権（特許法商標法） |
| ⑩コンピュータ犯罪防止法と不正アクセス禁止法 | | ⑪ネット詐欺と対策 |
| ⑫スマートフォンのセキュリティ | ⑬セキュリティ関連の最新話題 | ⑭まとめ |
| ⑮総合演習レポート | | |

【テキスト】

必要に応じてプリントを配布する。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

受講生の皆さんのものの感じ方、考え方を踏まえて、なるべく難しい専門用語を避けて、より実用的・よりわかり易い授業になるよう工夫していきたい。

【評価方法】

毎回授業に提出された課題の答え（60点）とレポートの内容（40点）によって評価する。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40370		経営学入門	2	松下 幸生	前期	教養

【達成目標】

主たる目標は基礎的な概念を学ぶことであり、準ずる目標は経営者、管理者、労働者、それぞれの多様な捉え方を通じて複眼的思考を養うことである。

【授業内容・方法】

講義形式。プリントを配布する。

【授業計画】

下記計画は講義のテーマを表すもので、1回に1項目ずつ進むとは限りません。

①経営学、会社の経営とは何か。②会社はどのように社会に役立っているのか。③会社はどのようにしてモノを売めるのか(1)。④会社はどのようにしてモノを売めるのか(2)。⑤会社はどのようにしてモノを造るのか。⑥会社は誰が動かしているのか。⑦社員は仕事をどのように分担しているのか。⑧社員はなぜ組織にとどまろうとするのか。⑨事業構造の戦略。⑩経営理論。

【テキスト】

- ・伊丹敬之・加護野忠男著[2003]『ゼミナール経営学入門(第3版)』, 日本経済新聞出版社。
- ・経営能力開発センター編[2006]『経営学検定試験公式テキスト』, 中央経済社。
- ・上林憲雄・奥林康司・團泰雄・開本浩矢・森田雅矢・竹内明著 [2007]『経験から学ぶ経営学入門』, 有斐閣ブックス。

【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】

板書する内容はテキストに準じて進めるために、必ず購入する必要はありません。ただし、半期の入門講義ゆえに、多くの用語が出てきます。配布プリントに記載されている、次回のキーワードは予習しておきましょう。

【評価方法】

試験(80%)、講義への参加度(20%)

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40380		経営情報論	2	松下 幸生	後期	

【達成目標】

「道具としての情報技術の活用」という視座に立ち、組織や経営戦略における情報技術の活用を体系的に習得すること。

【授業内容・方法】

講義形式。序盤は経営情報論と関わりの深い経営学の基礎知識を学び、それ以降は企業において活用されている情報技術の発展の経緯を学ぶ。

【授業計画】

下記計画は講義のテーマを表すもので、1回に1項目ずつ進むとは限りません。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ①経営情報論の基礎 | ⑥経営情報システムの設計・開発 |
| ②経営情報論の基礎理論 | ⑦経営情報システムの管理 |
| ③経営情報システムの変遷 | ⑧情報技術とビジネス・プロセス革新 |
| ④情報技術の進展 | ⑨情報技術と組織変革 |
| ⑤ネットワーク・コンピューティング | |

【テキスト】

遠山暁・村田潔・岸眞理子著[2003]『経営情報論』, 有斐閣アルマ(税込1,995円)

【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】

講義は技術的な内容や数式モデルを使わずに、板書と適宜配布する資料によって進めます。板書する内容はテキストに準じて進めるため、必ず購入する必要はありません。

【評価方法】

試験(80%)、授業への参加度(20%)

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放								
40390		意思決定論	2	松下 幸生	後期									
<p>【達成目標】 序盤は意思決定論の特徴を理解すること、それ以降は講義と演習を通じて意思決定の基本的な技術を高めること。</p> <p>【授業内容・方法】 講義は技術的な内容や数式モデルを使わずに、板書と適宜配布する資料によって進めます。演習課題では、興味のある職業に就くという目標に向けた計画、実施、検討方法を修得するために、授業計画に基づいて課題の難易度を上げていきます。</p> <p>【授業計画】 下記計画は講義のテーマを表すもので、1回に1項目ずつ進むとは限りません。</p> <table border="0"> <tr> <td>①意思決定論とは何か（概要）</td> <td>⑤原因を究明する</td> </tr> <tr> <td>②成功者の意思決定</td> <td>⑥選択して決定する</td> </tr> <tr> <td>③戦略＝ゴールの明確化</td> <td>⑦将来を見通す</td> </tr> <tr> <td>④状況を把握する</td> <td>⑧ゴールを再確認する</td> </tr> </table> <p>【テキスト】 今村栄三郎[2000]『図解 意思決定の技術』、東洋経済新報社 宮川公男[2005]『意思決定論』、中央経済社</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 ほぼ毎回課題を課すために、欠席は極力避けましょう。また、課題間の関連性は深いです。課題提出が滞ると、試験問題を解けなくなることに留意しましょう。目標管理に役立ててください。</p> <p>【評価方法】 試験（80%）、課題（20%）</p>							①意思決定論とは何か（概要）	⑤原因を究明する	②成功者の意思決定	⑥選択して決定する	③戦略＝ゴールの明確化	⑦将来を見通す	④状況を把握する	⑧ゴールを再確認する
①意思決定論とは何か（概要）	⑤原因を究明する													
②成功者の意思決定	⑥選択して決定する													
③戦略＝ゴールの明確化	⑦将来を見通す													
④状況を把握する	⑧ゴールを再確認する													

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40400		経営情報演習	2	松下 幸生	前期	
<p>【達成目標】 Excel を使って、データの加工や読み取り方、グラフ作成、関数式をより実践的なかたちで身につけること。</p> <p>【授業内容・方法】 序盤に、経営に重きを置くか、情報処理に重きを置くかを多数決によって決定する。そのうえで、重きを置いたテーマに沿った演習に取り組む。</p> <p>【授業計画】 以下の計画は最低限実施する演習内容であり、受講者の要望に応じて追加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務構造の変化（データの活用） ・小売業における商品管理（ABC分析、顧客管理） ・実践的な関数式の活用 <p>【テキスト】 和田知里[2007]、『Excel ビジネス現場ですぐに使える関数&サンプル 130 選』、秀和システム 適宜プリント、およびファイル(Excel)を配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 情報処理演習Ⅱの内容を、概ね習得できていること（sum 関数、if 関数、グラフ作成ができること）が望ましい。そのために、予習・復習は必要に応じて取り組むこと。</p> <p>【評価方法】 課題（100%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40510		情報メディア論	2	小池 隆太	前期	教養

【達成目標】

1. メディアの発展について歴史的側面から概観し、必要な知識を習得する。
2. メディアに関する理論的視座から、メディアの技術的特性や文化的・社会的意義を理解する。

【授業内容・方法】

古代の壁画や書物、印刷術、写真・映画、そしてマスメディアやインターネットに至るメディアの発展を歴史的に概観し、メディア論／コミュニケーション論の観点からその特性を講義します。

【授業計画】

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| ①メディア論とは | ②③記号とコミュニケーション |
| ④⑤声の文化／文字の文化／印刷の文化 | ⑥⑦写真・映画の発明と視覚文化 |
| ⑧マスコミュニケーションの成立 | ⑨マスメディア論 |
| ⑩コンピュータの誕生とインターネットの発展 | ⑪情報化社会とデジタルデバイス |
| ⑫バリアフリーとユニバーサルデザイン | ⑬⑭ケータイ文化論 |
| ⑮ソーシャルメディアの時代 | |

【テキスト】

資料プリントを適宜配布します。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

課題レポートを活用した質問・意見交換などを通じて、今日のメディア社会に課せられた諸問題について、皆さんが自分自身で「考える」力を身につけられるように工夫します。

【評価方法】

期末試験（論述式・持込可 70%）、授業中の提出課題（30%）

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40520		メディア表現法	2	小池 隆太	後期	教養

【達成目標】

1. コンピュータ／マルチメディア表現におけるデジタルデータの意味を理解する。
2. デジタル制作の現場において必要とされる知識を習得する。

【授業内容・方法】

コンピュータを使用したさまざまな表現技術に関して、基礎となる情報表現の理論、データの処理や加工の方法論とその仕組み、具体的な制作のプロセスを講義形式で概観します。

【授業計画】

- | | | |
|---------------|-----------------|---------------------|
| ①デジタルデータの形式 | ②コンピュータによる描画・造形 | ③フォントについて |
| ④タイポグラフィとデザイン | ⑤色彩論 | ⑥色彩の情報処理 |
| ⑦商業印刷における色彩表現 | ⑧色彩調和と配色 | ⑨画面構成／レイアウト／紙の規格と製本 |
| ⑩デジタルカメラの原理 | ⑪⑫画像と音声のファイル形式 | ⑬デジタル動画編集 |
| ⑭デジタル音楽制作 | ⑮まとめ | |

【テキスト】

資料プリントを適宜配布します。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

技術的な知識の解説が主となる講義形式の授業ですが、可能な限り実作品の鑑賞や解説などを混ぜることで、皆さんの関心につながるような授業にします。

【評価方法】

期末試験（持込不可 70%）、授業での課題提出（30%）

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40530		コミュニケーション デザイン論	2	小池 隆太	後期	教養
<p>【達成目標】 1. 映像／視覚作品の分析の方法論について理解し、実際に作品分析を行なう。 2. 映像文化とコミュニケーションの文化的・社会的様相について理解する。</p> <p>【授業内容・方法】 映像文化の特性とその変容について思想的観点から講義するとともに、作品の分析のために必要な理論・方法論を理解し、実際の作品分析をワークショップ形式で行ないます。</p> <p>【授業計画】 ①情報デザインとコミュニケーション ②映像／視覚表現の分析手法 ③広告／テレビCMの分析 ④流行と欲望の構造 ⑤交換と贈与の体系 ⑥象徴交換とシミュラクル ⑦⑧映像表現の分析 ⑨マンガ研究の方法論 ⑩⑪マンガ表現の分析 ⑫物語構造論とナラトロジー ⑬アニメ研究の方法論 ⑭⑮アニメ表現の分析</p> <p>【テキスト】 資料プリントを適宜配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 課題提出などを通して理論的／分析的思考を養ってもらうとともに、参加型の授業形式を複数回取り入れ、議論を通じて広く理解を深めてもらおうと考えています。</p> <p>【評価方法】 期末レポート（70%）、授業中の提出課題（30%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40540		メディア制作演習	2	小池 隆太	前期	
<p>【達成目標】 1. イラストレーション／ポスターデザイン／エディトリアルデザインの制作技術を習得する 2. 単なる操作技術ではない、表現手段としての技能と方法論を理解する。</p> <p>【授業内容・方法】 Adobe 社の Illustrator・Photoshop を用いたデザインやアート表現を、制作を通して実践的に学びます。毎回の演習課題は実地の制作現場同様のスタイルで進めていきます。</p> <p>【授業計画】 ①ガイダンス ②③Illustrator による描画 ④Photoshop による写真補正の実践と特殊効果 ⑤テクスチャーの制作 ⑥文字組みの方法論 ⑦ロゴの制作 ⑧レイアウトと構成 ⑨⑩フライヤーの制作 ⑪⑫イラストレーションの技法と制作プロセスについて ⑬作品制作の構想案作成について ⑭⑮最終課題作品の制作</p> <p>【テキスト】 資料プリントを適宜配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 1年次の「メディア表現法」「グラフィックス演習」の実践演習と捉えてください。自ら考えて表現しようとする意志を要求する授業です。最終的に自由制作課題作品を1点提出してもらいます。</p> <p>【評価方法】 演習課題の提出（60%）、最終課題作品（提出必須 40%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放															
40570		グラフィックス デザイン演習	2	伊豆田義人	後期	教養															
<p>【達成目標】 目的は、(ア)前期の「グラフィックス演習」で網羅できなかった実践的な事柄を学習すること、(イ)自律的な問題解決能力の向上のための米沢市を題材としたリーフレットを作成することです。 (注意)前期の「グラフィックス演習」を受講していることが望ましい。</p> <p>【授業内容・方法】 課題を作成しながらデジタル画像の活用方法を実践的に学習します。また、プロジェクトを作成する際には、フィールドワーク、つまり、街頭調査や取材が必要になるので、受講者は、授業の時間の他、調査や制作のための時間を確保しなければならない。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>① ガイダンス。印刷物の基本</td> <td>② ソフトの紹介</td> <td>③ 文章入力とスタイルの作成</td> </tr> <tr> <td>④ 画像の挿入・処理</td> <td>⑤ パスによる描画</td> <td>⑥ 表とそのスタイルの作成</td> </tr> <tr> <td>⑦ 目次と索引の作成</td> <td>⑧ 出力ファイルとブック</td> <td>⑨ まとめの課題</td> </tr> <tr> <td>⑩ プロジェクトの説明</td> <td>⑪ プロジェクト作成-1</td> <td>⑫ プロジェクト作成-2</td> </tr> <tr> <td>⑬ プロジェクト作成-3</td> <td>⑭ プロジェクト作成-4</td> <td>⑮ プロジェクト作成-5</td> </tr> </table> <p>【テキスト】 適宜プリントを配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 プロジェクトでは前期の「グラフィックス演習」で学習した事柄をも含め、学んだことをすべて使うので、学問的な部分のみならず、活用方法への理解を深めることができます。</p> <p>【評価方法】 期末課題（40%）、定期課題（40%）、授業への参加度（20%）</p>							① ガイダンス。印刷物の基本	② ソフトの紹介	③ 文章入力とスタイルの作成	④ 画像の挿入・処理	⑤ パスによる描画	⑥ 表とそのスタイルの作成	⑦ 目次と索引の作成	⑧ 出力ファイルとブック	⑨ まとめの課題	⑩ プロジェクトの説明	⑪ プロジェクト作成-1	⑫ プロジェクト作成-2	⑬ プロジェクト作成-3	⑭ プロジェクト作成-4	⑮ プロジェクト作成-5
① ガイダンス。印刷物の基本	② ソフトの紹介	③ 文章入力とスタイルの作成																			
④ 画像の挿入・処理	⑤ パスによる描画	⑥ 表とそのスタイルの作成																			
⑦ 目次と索引の作成	⑧ 出力ファイルとブック	⑨ まとめの課題																			
⑩ プロジェクトの説明	⑪ プロジェクト作成-1	⑫ プロジェクト作成-2																			
⑬ プロジェクト作成-3	⑭ プロジェクト作成-4	⑮ プロジェクト作成-5																			

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放															
40580		ウェブデザイン演習	2	伊豆田義人	後期	教養															
<p>【達成目標】 目的は、(ア)前期の「インターネット演習」で習得した HTML 5 と CSS 3 の活用方法を学習すること、(イ) モバイルコンテンツへ発展し、その仕組みを理解することです。 (注意)前期の「インターネット演習」を受講していることが望ましい。</p> <p>【授業内容・方法】 授業での学習を踏まえて、自律的な問題解決能力の向上を目的としたプロジェクトを制作します。つまり、ウェブデザイン・制作スキルの育成を目指します。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>① ソフトの学習</td> <td>② html5 と css3 の復習</td> <td>③ メニューとナビゲーション</td> </tr> <tr> <td>④ サイトのテンプレート</td> <td>⑤ まとめの課題</td> <td>⑥ モバイルコンテンツの基本</td> </tr> <tr> <td>⑦ モバイル用フレームワーク</td> <td>⑧ モバイル用レイアウト</td> <td>⑨ モバイルサイトの作成</td> </tr> <tr> <td>⑩ モバイルサイトの CSS</td> <td>⑪ モバイルとジャバスクリプト</td> <td>⑫ モバイルとキャンバス</td> </tr> <tr> <td>⑬ モバイル用ゲーム作成の基本</td> <td>⑭ モバイル用ゲームの基本</td> <td>⑮ コンテンツのアプリへの変換</td> </tr> </table> <p>【テキスト】 適宜プリントを配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 実践的に HTML と CSS を極めた後、課題を作成しながら私たちの身近なスマホのコンテンツ・サイトの制作に焦点を置いて、モバイルの裏にあるものやその仕組みを理解するので、ぜひ受講してもらいたいです。またモバイルとジャバスクリプトの関係を理解するため、モバイルゲームの基本を確認し、アプリへの変換方法を確認する。</p> <p>【評価方法】 期末課題（40%）、定期課題（40%）、授業への参加度（20%）</p>							① ソフトの学習	② html5 と css3 の復習	③ メニューとナビゲーション	④ サイトのテンプレート	⑤ まとめの課題	⑥ モバイルコンテンツの基本	⑦ モバイル用フレームワーク	⑧ モバイル用レイアウト	⑨ モバイルサイトの作成	⑩ モバイルサイトの CSS	⑪ モバイルとジャバスクリプト	⑫ モバイルとキャンバス	⑬ モバイル用ゲーム作成の基本	⑭ モバイル用ゲームの基本	⑮ コンテンツのアプリへの変換
① ソフトの学習	② html5 と css3 の復習	③ メニューとナビゲーション																			
④ サイトのテンプレート	⑤ まとめの課題	⑥ モバイルコンテンツの基本																			
⑦ モバイル用フレームワーク	⑧ モバイル用レイアウト	⑨ モバイルサイトの作成																			
⑩ モバイルサイトの CSS	⑪ モバイルとジャバスクリプト	⑫ モバイルとキャンバス																			
⑬ モバイル用ゲーム作成の基本	⑭ モバイル用ゲームの基本	⑮ コンテンツのアプリへの変換																			

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40590		データベース概論	2	西川 友子	後期	

【達成目標】

1. 販売会社の顧客情報など、ICT 社会の根幹を担うデータベースの基礎的な事項を理解します。
2. PC で表計算ソフトの簡易データベースから始め、社会で業務に必要なスキルを身に付けます。

【授業内容・方法】

データベースは難しい概念がありますので、講義(基礎知識の解説)ばかりではなく、実際にパソコンを使って実習を行うことにより、基礎的な知識や技術の確実な定着を図ります。

【授業計画】

- | | | |
|--------------|--------------------|--------------------|
| ①ガイダンス | ⑤データベース管理システム | ⑨～⑩簡易データベース(実習) |
| ②データベースとは | ⑥関係データベースの演算 | ⑪～⑭データベースの基礎技術(実習) |
| ③データベースの基礎知識 | ⑦データベース設計基礎(E-R 図) | ⑮まとめ |
| ④データベースの構成 | ⑧データベースの SQL | |

【テキスト】

講義で使用する資料は適宜配布します。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

難しいところがありますが、基本的なところから丁寧に講義を進めます。しかし情報リテラシーの基礎は習得済みとして講義を行いますので、前期の情報系科目は頑張って履修して下さい。

【評価方法】

授業参加態度：20%、授業内課題：30%、期末試験：50%

※他人へ迷惑をかける、授業に関係ない事を行う、居眠り等、授業進行を妨げる行為は減点対象です。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40620		I T 概論	2	西川 友子	後期	

【達成目標】

1. オフィスツールの演習では学べない情報処理や PC の仕組みについての知識や技術を理解します。
2. 経済産業省の国家資格「IT パスポート」を意識しながら「情報リテラシー」を向上させます。

【授業内容・方法】

昨今の ICT 社会を反映して通常の PC 操作はできるものの、トラブルには対応できないなどの不安を持つ者も多いです。これは操作に伴う知識や技術の不足が原因で、講義ではこのコア知識を習得します。

【授業計画】

- | | | |
|-------------|--------------------|----------------|
| ①ガイダンス | ⑥アルゴリズムとプログラミング | ⑪マネジメント |
| ②セキュリティ | ⑦システム構成要素 | ⑫企業活動 |
| ③コンピュータ構成要素 | ⑧ネットワーク | ⑬経営戦略・システム戦略 |
| ④ソフト・ハードウェア | ⑨システム企画・インターフェース設計 | ⑭法務とビジネスインダストリ |
| ⑤基礎理論 | ⑩開発技術 | ⑮まとめ |

【テキスト】

講義で使用する資料は適宜配布します。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

解説など口頭での内容が重要である場合も多いので、配布する資料にマーキングしたりノートやメモを取ったりして、講義内容を頭で考え理解するように努めることが重要です。

【評価方法】

授業参加態度：20%、授業内課題：30%、期末試験：50%

※他人へ迷惑をかける、授業に関係ない事を行う、居眠り等、授業進行を妨げる行為は減点対象です。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40610		プログラミング演習	4	西川 友子	前期	

【達成目標】

1. プログラミングに必要な問題を解くための手順(アルゴリズム)の組み立て方を理解します。
2. プログラミング言語の文法やそれを記述するための作業の仕方を身に付けます。

【授業内容・方法】

プログラムを作成することで、コンピュータで利用できる新しいツールを作り出せます。それには順序立てて正確に作成する必要があります。演習を通して、これらに必要な考え方や技術を習得します。

【授業計画】

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| ①～③ガイダンス、初めてのプログラミング | ⑩～⑪条件分岐処理～Select Case 文 |
| ④～⑤計算と入出力～整数・実数の計算と変数 | ⑫～⑬画像データの扱い |
| ⑥～⑦処理の選択～IF 文 | ⑭まとめ |
| ⑧～⑨処理の選択～少し複雑な選択構造 | ⑮期末課題 |

※2時間(2コマ)分を1つとして記述しています。

【テキスト】

講義で使用する資料は適宜配布します。

【受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)】

新しい知識や技術の習得は、毎回の授業(演習)を積み重ねていくことにより達成されるものです。授業を欠席しないことはもとより、授業内容を理解し習得できるよう留意して臨んで下さい。

【評価方法】

授業参加態度：20%、授業内課題：40%、期末課題：40%

※他人へ迷惑をかける、演習に関係ない事を行う、居眠り等、演習進行を妨げる行為は減点対象です。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40720		基礎ゼミ二	2	亀ヶ谷雅彦	後期	

【達成目標】

ゼミでの知的・人的交流を通して、専門ゼミでの研究に向けた基礎的な知識やスキルを身につける。

【授業内容・方法】

社会心理学や政治学に関する文献講読や、データの統計処理などについて演習形式で指導する。

【授業計画】

社会心理学や政治学に関する文献を読んで、担当部分のレジュメをまとめて発表し、学生同士で議論する。また、左記テーマに関するデータの統計処理について演習を行う。なお、具体的な内容は、ゼミ生と話し合って決める。

【テキスト】

話し合って決める。

【受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)】

履修希望者は、どんな文献が読みたいか前もって考えておいて下さい。また、鍋やお好み焼き会などを行ってゼミ生同志のリレーション作りを進めたいので、これらにも積極的に参加できる方をお待ちします。

【評価方法】

授業への参加度 (70%)、課題などの提出状況 (30%)

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40730		基礎ゼミ三	2	松下 幸生	後期	
<p>【達成目標】 情報収集の訓練、自らの選択したテーマを整理して聞き手に伝える訓練、及び、パワーポイントを使った資料作成の基礎を修得すること。</p> <p>【授業内容・方法】 序盤は講義形式、及び、受動的に取り組む演習形式をとる。中盤以降は、能動的に取り組む演習形式に切り替える。</p> <p>【授業計画】 パワーポイントの報告は、レポートやレジюмеを凝縮させたものである。それゆえに、最初はレポートやレジюмеを作成する際の要点、及びパワーポイントの使い方を学ぶ。それ以降は、一定の条件を満たすテーマを主体的に考え、期末報告用のパワーポイント資料の作成をする。なお、「一定の条件を満たす」とは、①複数年に渡る数値化されたデータを入手可能なこと、または、②インターネット検索、書籍、雑誌、報告書などを介して資料を入手できることである。</p> <p>【テキスト】 なし。適宜プリントを配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 パワーポイントの構成、及び、構成に適う情報収集は興味を持ってないと大変かもしれません。そのために、好きなテーマを各々が決める形式をとります。</p> <p>【評価方法】 パワーポイントを使った期末報告（100%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40740		基礎ゼミ四	2	鈴木 久美	後期	
<p>【達成目標】 2年次の専門ゼミでの卒論作成、就職活動や編入活動に必要な論理的思考や経済学の知識の習得を目的とします。</p> <p>【授業内容・方法】 設定されたテーマについて学生が調べ、考え、報告する形式をとります。</p> <p>【授業計画】 ゼミ参加者の学習履歴・学習目的により変更する可能性があります。 第1回目のゼミの際に使用テキストなど相談します。 テキストを利用する場合は、輪読形式で行います。</p> <p>【テキスト】 参加者の学習履歴に合わせたテキストをゼミ内で指定します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 経済学の知識があると株価や為替、景気など、新聞や経済ニュースの理解が容易になります。また、論理的思考ができたり、報告に慣れていたりすると進路選択の幅が広がるはずで。</p> <p>【評価方法】 授業での報告（30%）、ディスカッションへの参加度（50%）、提出課題（20%） 無断欠席は1回につき10%のマイナス評価。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40750		基礎ゼミ五	2	小池 隆太	後期	
<p>【達成目標】 1. 実際の作品分析を通して、記号論や映像論・写真論などの批評理論の基本的枠組を理解します。 2. 作品批評をプレゼンテーションとして発表し、かつコメントする能力を養います。</p> <p>【授業内容・方法】 基本的には毎回2～3人の受講生による報告発表を演習形式で行ないます。分析に必要な理論や概念を発表の合間に講義します。</p> <p>【授業計画】 ①ガイダンス ②作品分析の方法論 ③④視覚文化研究の文献購読（1） ⑤⑥⑦⑧受講生による報告発表（1） ⑨⑩視覚文化研究の文献購読（2） ⑪⑫⑬⑭受講生による報告発表（2） ⑮まとめ</p> <p>【テキスト】 資料プリントを適宜配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 作品の「鑑賞」と作品の「批評」とは、まったく似て非なるものです。感性的に与えられたものについて、分析的に捉えて考察する「眼」を養っていただければと考えています。</p> <p>【評価方法】 報告発表（50%）、期末レポート課題（50%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40760		基礎ゼミ六	2	伊豆田義人	後期	教養
<p>【達成目標】 1. 英語の長文を読解できること。 2. 専門的な英文書への理解を深めること。</p> <p>【授業内容・方法】 英語の新聞記事や科学的な文章を読み解く。毎回、みんなで、順番に一文を読んだ後に、和訳をし、意味を説明する。予習できるように、授業の一週間前に文章を配布する。</p> <p>【授業計画】 ① 英語長文1 ② 英語長文2 ③ 英語長文3 ④ 英語長文4 ⑤ 英語長文5 ⑥ 英語長文6 ⑦ 英語長文7 ⑧ 英語長文8 ⑨ 英語長文9 ⑩ 英語長文10 ⑪ 英語長文11 ⑫ 英語長文12 ⑬ 英語長文13 ⑭ 英語長文14 ⑮ 英語長文15</p> <p>【テキスト】 適宜配布する。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 このゼミでは、英文を順次、文頭から単語を一つ一つ追って、訳するが、英単語を和訳していくだけでなく、常に「だれが」、「なにを」、「いつ」、「どこで」、「どのように」等を口にしながら読み解いていきます。英語の語順は日本語とは異なるので、「片言」的な訳になるが、慣れて「なるほど」と感じてもらえれば幸いです。</p> <p>【評価方法】 期末レポート課題（80%）、授業への参加度（20%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40770		基礎ゼミ七	2	西川 友子	後期	

【達成目標】

1. 社会での生活やビジネスにおける「情報」という事象を理解し正しく捉える力を身に付けます。
2. 実社会において必要不可欠な PC ベースの実務遂行能力「情報リテラシー」を養います。

【授業内容・方法】

今後のユビキタスコンピューティング社会の到来を控え、改めて「情報」というものを様々な角度から捉え直して、「情報」を利活用するための知識・技術を整理し習得していきたいと考えています。

【授業計画】

- | | | |
|---|---|--|
| ①ガイダンス | ⑥～⑨テーマ 5 | ⑩～⑮テーマ 6 |
| ②～⑤テーマ 1～4
毎回用意する ICT 関連の最新トピックスや時事ニュースなどを題材にしてディスカッション等を行いレポートにまとめます。 | こちらで用意するテーマについて、個人毎にインターネットや図書等を利用して調査を行い、結果をレポートにまとめて最後に発表を行います。 | 各自でテーマ設定を行い、それについてインターネットや図書等で調査を行い、その結果をプレゼンテーションにまとめて最後に発表します。 |

【テキスト】

ゼミで使用する資料は、必要に応じて適宜配布します。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

ゼミは大学の授業の一環ですので勉強する場ですが、「座学」での勉強とは異なり広い意味で様々なことを学ぶ場です。自ら積極的にチャレンジし、主体的にゼミでの活動や学習に参加して下さい。

【評価方法】

ゼミ参加態度：20%、テーマ 1～4(レポート)：20%、テーマ 5：20%(レポート・発表)、テーマ 6：40%(プレゼン)
※他人へ迷惑をかける、ゼミに関係ない事を行う、居眠り等、ゼミ進行を妨げる行為は減点対象です。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40820		専門ゼミ二	4	亀ヶ谷雅彦	通年	

【達成目標】

ゼミでの知的・人的交流を通して、卒業研究の作成に必要な知識やスキルを身につける。

【授業内容・方法】

各人の卒業研究に関して演習形式で指導し、みんなで論文集をまとめる。各自の研究テーマは自由であるが、政治や社会心理、文化などについての問題意識を持つ学生を歓迎する。

【授業計画】

順番を決めて各自の研究計画や進行状況を発表し、ゼミ生同志で議論する。また、ゼミ旅行を行って見聞を広げる。なお、添削指導のため、卒業研究論文原稿の半分を後期開始時に、完成版を 12 月末に提出してもらう。過去のゼミ生の研究テーマを知りたい学生は、論文集のバックナンバーを研究室まで見に来てほしい。

【テキスト】

なし

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

人間や社会に対する好奇心が旺盛で、ゼミの仲間と一緒に勉強もレクリエーションも真面目に取り組む学生を歓迎します。BBQ・芋煮・吾妻祭・ゼミ旅行と、ゼミ生同志のリレーション作りを大事にするゼミですので、これらに積極的に参加できる方をお待ちします。

【評価方法】

授業への参加度（70%）、課題などの提出状況（30%）

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40830		専門ゼミ三	4	松下 幸生	通年	

【達成目標】

卒業研究（論文）を完成させるために必要な知識と技術を習得すること。

【授業内容・方法】

章節構成を固めるまでは、原則的に講義形式、対話形式をとる。研究テーマは、経営学に関わる内容とする。章節構成の固まったあとは、個々の進捗状況に応じて指示をする。なお、章節構成に至る過程に多くの時間を割く点に留意されたい。

【授業計画】

テーマに応じて適宜指示する。なお、前期は主にテーマの絞込み（何を研究したいのか）、資料収集とその理解、章節構成を固めることに時間を割く。後期は執筆作業を中心にしたいと考えている。

【テキスト】

各自の研究テーマに必要な書籍を、対話形式で絞り込む。なお、卒論の書き方に関しては、適宜、資料を配布する。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

要求水準を満たす論文の提出が単位認定の要件です。興味のあるテーマについて多くの書籍を読み、理解を深めていきましょう。また、資料収集に重点を置くために、執筆時間は限られています。個々の進捗状況に応じた指導をしますが、スケジュール管理は個々に任せるので単位を落とさないようにしましょう。

【評価方法】

要求水準を満たす卒業論文の提出（期限厳守 100%）

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40840		専門ゼミ四	4	鈴木 久美	通年	

【達成目標】

自ら選択したテーマにつき卒業研究（論文）を仕上げることを目的とします。

【授業内容・方法】

論文作成のために必要な知識や技術の説明を受けた後、個別に作業を行っていただきます。

【授業計画】

- | | | | |
|------------|--------------|------------|----------------|
| ①ガイダンス | ②テーマ選択方法 | ③参考文献検索方法 | ④テーマ選択 |
| ⑤テーマ報告 | ⑥マインドマップの描き方 | ⑦マインドマップ作成 | ⑧マインドマップチェック |
| ⑨マインドマップ修正 | ⑩文章の書き方 | ⑪論文の書き方 | ⑫章構成 |
| ⑬章構成チェック | ⑭章構成決定 | ⑮夏休みの予定作成 | ⑯前期＋夏休みの進捗状況報告 |
| ⑰～⑳個別指導 | ㉑初稿提出 | ㉒修正個所の指摘 | ㉓～㉕個別指導 |
| ㉖改定稿提出 | ㉗報告用資料作成 | ㉘報告会 | ㉙最終稿作成 ㉚最終稿提出 |

【テキスト】

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

卒業研究では論文を提出していただきます（期限厳守）。研究報告を定期的に行うことで、プレゼンの仕方も学習します。

【評価方法】

提出課題（20%）、報告（20%）、卒業論文（期限内提出 60%）

無断欠席は1回につき10%のマイナス評価。

締切に遅れた卒業論文の評価はゼロ。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40850		専門ゼミ五	4	小池 隆太	通年	
<p>【達成目標】 1. デジタルアート／メディアアートの作品研究を通して、現代の「表現」について理解する。 2. 作品研究によって得た知識を元にデジタルアート／メディアアートの作品制作を行なう。</p> <p>【授業内容・方法】 卒業研究として作品制作ならびに作品研究を行ないます。映像作品制作やデジタル音楽制作、あるいはいわゆるサブカルチャー研究も活動範疇とします。研究と制作の両方を実践的に学びます。</p> <p>【授業計画】 メディア文化史に関する文献購読,ならびに情報デザインと表現技法についてのワークショップを行ないます。夏期休業中には各人の興味に応じた課題（写真500枚以上、あるいはデッサン／イラスト／デザイン画50枚以上、その他応相談）を課します。 後期には各人の卒業制作作品と研究論文について、定期的に報告発表をしてもらいながら、その最終的な完成を目指します。</p> <p>【テキスト】 資料プリントを適宜配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 ワークショップ形式での課題演習や集団制作などを頻繁に取り入れますので、デジタル加工技術の習得、主体性や創造性／想像力は勿論のこと、他の受講生との協調性・協働性も大きく問われます。</p> <p>【評価方法】 作品研究論文（50%）、制作作品（50%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40860		専門ゼミ六	4	伊豆田義人	通年	
<p>【達成目標】 問題の発掘と解決・取り組み方を身に着けること。</p> <p>【授業内容・方法】 卒業研究のための勉強会を開く。また、卒業研究テーマが決まったら、毎回、進捗状況の報告をする。卒業研究の分野は次の通りである。 （1）制作のテーマは、「インターネット演習」や「グラフィックス演習」、「ウェブデザイン」、「グラフィックスデザイン」の範疇に含まれるものとします。 （2）調査や論文執筆の範囲は、「自然言語処理」です。これは、一言で言うと、人間がしゃべる言語をコンピュータ技術で分析、処理することです。</p> <p>【授業計画】 【前期】（1）作品制作班は、演習または講義形式で、制作のための勉強会を開く。 （2）論文や調査班は、輪講等の形式で研究に必要な知識と情報を収集する。 なお、関連する科目の受講を推奨する場合もある。 【後期】（1）作品制作班は、制作作業を行う。 （2）論文や調査班は、調査、実験等を行い、執筆活動を行う。</p> <p>【テキスト】 適宜プリントを配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 二年間の集大成なので、是非頑張ってください。また、「これだけはできる、または熟知したい」という気持ちで卒業研究に取り組んでください。</p> <p>【評価方法】 卒業研究（60%）、授業への参加度（40%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40870		専門ゼミ七	4	西川 友子	通年	

【達成目標】

1. 実社会において必要な「与えられた課題に対して自ら取り組み解決し成果を出す力」を養います。
2. 「情報」に関して卒業研究を行い、PCベースの実務遂行能力「情報リテラシー」を身に付けます。

【授業内容・方法】

卒業研究(課題・製作等)のテーマはこちらでいくつかの案を提示しますが、面談等を行いながら、趣意や嗜好、将来の方向性などを勘案して決定します。このテーマに基づいて作業を進めていきます。

【授業計画】

前期①ガイダンス	前期⑬	後期③～⑫	後期⑭～⑮
前期②～⑤	前期成果の提出	作業(研究、製作、調査等)	最終成果発表会
テーマ決定		後期⑬	
前期⑥～⑭	後期①～②	最終成果の提出	
作業(研究、製作、調査等)	前期成果発表会		

【テキスト】

ゼミで使用する資料は、必要に応じて適宜配布します。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

専門ゼミでは、卒業研究(課題・製作等)を完成させるためにテーマに積極的にチャレンジし、主体的に取り組む必要があります。適宜、報告・連絡・相談を行いながら進めて下さい。アドバイスします。

【評価方法】

ゼミ参加態度：20%、卒業研究(課題、製作)：80%

※他人へ迷惑をかける、ゼミに関係ない事を行う、居眠り等、ゼミ進行を妨げる行為は減点対象です。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40880		専門ゼミ八	4	孫 誌銜	通年	

【達成目標】

われわれの生活の中でもっとも身近な情報活用のある場である図書館に関するさまざまな題材を取り上げて研究を行うことを前提とします。

今日における図書館の存在意義と役割を、いかに社会関係のなかで相対的に捉えるかということを目指し、社会の「つながり」のなかでの図書館の機能、図書館を考えるうえで必要な情報やサービスとはなにかなどについて考えていきます。

【授業内容・方法】

【授業計画】

テーマに応じて適宜指示します。

【テキスト】

資料を適宜配布します。

【参考書】

その都度紹介します。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

卒業研究では図書館情報学をはじめ、自分が関心ある分野について熱心に取り組もうとする姿勢が大事です。どんなテーマでも構いませんので、意欲的に挑戦していくチャレンジャーになりましょう。

【評価方法】

研究に対する姿勢、卒業論文の完成度、ゼミ活動などを総合して評価します。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40890		専門ゼミ九	4	清水 浩	通年	
<p>【達成目標】 1. 卒業研究（論文）を作成するために必要な知識と技術を習得する。</p> <p>【授業内容・方法】 1. 人間の心理や発達、教育に関心のある方を希望します。</p> <p>【授業計画】 前期はテーマの絞り込みとそのテーマにかかわる基本的な事項の理解を目指します。当番を決めて、文献や資料をレジュメにし、発表してもらいます。</p> <p>【テキスト】 各自のテーマに即した文献や資料等を指示します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 まず知りたい、調べたいことについて考えておいてください。そして、一度決めたテーマについては簡単にあきらめずに、根気強く調べてください。また、人の前で考えたことを発表したり、議論したりすることは自分を高めることにつながりますので、積極的に取り組んでください。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度（40%）、論文等提出物（60%）。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
40900		専門ゼミ十	4	比留間浩介	通年	
<p>【達成目標】 卒業研究（論文）の作成に必要な知識やスキルを身に付ける。</p> <p>【授業内容・方法】 スポーツの競技力向上や健康増進のための方法について、動作分析や実験を通して明らかにしていく。前期中に文献収集を通してテーマを決め、実験（または調査）、分析まで行う。後期は執筆作業を中心に進める。</p> <p>【授業計画】 テーマに応じて指示する。</p> <p>【テキスト】 各自のテーマに即した文献や資料を指示します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 スポーツや健康について興味があり、科学的な視点から追求してみたい学生を歓迎します。</p> <p>【評価方法】 卒業研究論文（70%）、授業への参加度（30%）</p>						